

土木工学・建築学委員会都市・地域デザインの多様なアプローチ分科会
(第25期・第5回) 議事要旨

日時 2021年9月16日(木) 13:00~15:00

会場 遠隔会議

出席者

佐々木 葉・赤松 佳珠子・伊藤 香織・小野 悠・神吉 紀世子・斎尾 直子・坂井 文・
田井 明・竹内 徹・古谷 誠章・増田 聡・南 一誠・村上 暁信・山田 あすか・山本
佳世子(18名中15名出席)

議題および決定事項

1) 佐々木副委員長から、日本学術会議の意見発出のあり方の見直し、委員会等連絡会の設置について報告があった。

2) 坂井委員、山田委員からの話題提供

・坂井委員

英国における特定多数の共有空間から不特定多数の公共空間への歴史的変容過程と所有・利用・管理の分離の仕組み、日本・特定街区制度、米国・POPS (Privately Owned Public Space)、英国・106条計画協定など国内外の都市開発による公共空間整備が紹介された。106条計画協定による公共貢献について、敷地外の公園緑地の範囲やプロセスに関する質問やコメントがあげられた。

・山田委員

建築計画と環境行動の融合、多様化・混在化する共生型コミュニティの拠点施設の事例、ピクトグラムから見るデザインと思想の関係、異種用途複合施設の建築計画などについて紹介された。建築基準法が制約となっている異種用途規格のポジティブな解体、中古住宅のグループホーム化などについてコメントがあげられた。

3) その他

今後の進め方について意見交換がなされた。